



学校教育目標

ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと上山の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyama/>

か み や ま



やってみよう つなげよう 「すき」をふやそう ～自分・友だち・上山小!～

校長 窪田 剛久

令和6年度が始まりました。本日入学式を無事執り行い、新たに49名の1年生を迎え入れることができました。小学校という新しい環境に期待感を抱いた瞳がキラキラと輝いていました。いよいよ上山小学校、48年目がスタートします。教職員も私をはじめ、数名の仲間たちを迎え、気持ちも新たに学校教育活動に邁進していきます。保護者の皆様、地域の皆様からのご支援、ご協力を賜りながら、大切に「かみやまっ子」を育て参ります。どうかこの一年間、よろしくお願いいたします。

上山小学校の学校教育目標『ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと上山の子』には、学校生活の中でたくさんの仲間と出会い、共に学び活動することを通して、一人ひとりがかけがえのない存在であることを子どもたちに実感してほしい、またここを自分たちの暮らすかけがえのないふるさととして大切にしてほしい、そうした願いが込められています。上山小学校はそうした子どもたちを育てるために「めざす子ども像」として以下のスローガンを掲げています。

「やってみよう つなげよう 「すき」をふやそう 自分・友だち・上山小」 ～低学年:楽しむ 中学年:広げる 高学年:高める～

本校では、教育課程全体で育成を目指す資質・能力を「主体的に考えようとする態度」「共生的な考え方・判断」「課題発見力・共生的な課題解決力」としています。ではどのようにすればそういった資質・能力が育まれるのでしょうか。

本校では日常の学校生活や行事等の中で子どもたちが様々な役割を担っています。その役割が友だちに認められ、評価されることで心を動かされ、自己有用感が醸成されます。また、学級や学年、行事等を行う際には必ず目標やめあてを設定しています。その目標やめあてに向かって活動することで、「主体的に考えようとする態度」(やってみよう)を伸ばしていくことができます。このようにして育んだ「自己有用感」と「主体性」が、身近な課題に進んで目を向けよう(課題発見力)とする意欲を高めていくと考えています。友だちと協働して課題に向き合うとき(つなげよう)、自分や友だちの考え方は広がり、判断力を高める(共生的な考え方・判断)ことができます。当然、課題解決力は高まっていく(共生的な課題解決力)でしょう。課題と向き合うときは少し大変ですが、友だちと一緒に解決できた時の達成感は、きっと子どもたちの自信に結び付き、「すき」をふやそう、自尊感情が身に付いていくに違いありません。

私たち教職員は、これからも一人ひとりの子どもたちに学ぶ楽しさを伝え、考え方を広げながら、成長と共に判断力や課題解決力そして主体性を高めていくために取り組んでまいります。今年度の本校の教育活動が、さらに充実したものになりますよう、保護者の皆様並びに地域の皆様には、これまでと同様に、本校の教育活動へのご理解とご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。